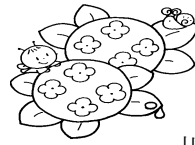


つくしだより



令和5年6月8日
川口市立舟戸幼稚園
年中つくし組

梅雨の季節を迎え、雨の恵みがアジサイの花をキラキラと輝かせています。子供たちは好きな遊びをしたり、「〇〇ちゃんおはよう」「〇〇ちゃん一緒に遊ぼう」と声をかけたりして、友達と関わって遊ぶ姿が多く見られ、そばにいる友達や気の合う友達と元気いっぱい幼稚園生活を過ごしています。

今後も遊びや活動を広げ、一人一人の思いを大切に受け止めながら、子供たちと関わって過ごしていきたいと思います。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大好きなごっこ遊び

「お腹がすいたニャー」「ネコさんのお家をつくろうよ」と、ネコごっこをしたり、「いらっしやいませ」「この卵ください」と、お店屋さんごっこをしたり、「みんなで宇宙バイクに乗って探検に行こう!」「宇宙バイクの運転手になりたいな。次は運転手さん代わってくれる?」など、いろいろなごっこ遊びを楽しんでいます。ごっこ遊びを通して、友達の名前を呼び合ったり、順番や遊び方を伝え合ったりなど、少しずつ友達との関わりも深まってきました。また、「ネコさんの大好きなお魚をつくってあげよう」と魚づくりをしたり、ブロックや積み木で家やバイクをつくったりして、遊びに必要なものをつくったり、つくったもので遊んだりしています。教師も遊びの仲間に入りながら、子供同士の関わりのかっかけをつくったり、自分の思いを上手く伝えきれていない場面では、言葉の仲立ちをしたりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように援助しています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『思考力の芽生え』『言葉による伝え合い』につながる姿が見られます。

絵の具でポンポン楽しいね

天気の良い日は、チョウやダンゴ虫、テントウムシ、小さなバッタなど、園庭で虫を探したり、捕まえたりして自然に親しみながら遊んでいます。大きな羽根を背中に付けて、チョウやテントウムシになりきって遊ぶことを喜んでいたので、絵の具を使ってチョウをつくりました。タンポ筆という、丸いスタンプのような模様が描ける筆で、チョウの体に模様を付けました。「いろいろな色でポンポンすると楽しい」「ステキなチョウになったよ」と、筆でポンポン模様を付けたり、「ポンポンしなくても描けるよ」と、線を描いたりして、友達と会話を楽しみながら夢中になって模様をつけ、個性豊かなチョウになりました。保育室の壁にチョウを飾ると、「私のチョウとんでる!」と大喜び。でも、「チョウだけじゃ可哀想。テントウムシもつくりたい」と言う声が聞こえたので、別の日に、画用紙を切ったり貼ったり、模様を付けたりしてテントウムシをつくりました。飛んでいるテントウムシや、笑っているテントウムシも仲間入りし、つくし組の保育室は賑やかになりました。遊びや生活の中で、描いたりつくったりして、いろいろな方法で思いやイメージを表現する楽しさを味わえるようにしていきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『自然との関わり・生命尊重』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

6月・7月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 自分なりの思いやイメージをもって、友達や先生と関わって遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな素材や用具に親しみ、つくったりつくったもので遊んだりすることを楽しむ。
- 水遊びに興味をもち、水の感触や心地よさを味わう。
- 生活や遊びに必要な身支度の仕方が分かり、進んで取り組もうとする。

